

令和6年度第1回我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会 議事録

開催日時 令和6年5月16日(木)午後6時30分から午後7時45分
開催場所 我孫子市役所 分館大会議室
出席者 委員：11名
佐藤昭宏、仲村信慶、小野武弘、佐々木美保、松山光貴、寺山加恵、
木村幸恵、岡安一将、大野令子、星良子、鉄谷舞子
地域医療コーディネーター：1名 松宮泉
国保年金課：3名
山梨主任、田胡主任、池田主任主事
事務局：10名
健康福祉部：飯田部長
高齢者支援課
長島課長、三井主幹、茅野課長補佐、楠美係長、石川係長
廣瀬総括主査、宮路総括主査、手塚主査、岡野主任
傍聴者：なし
司会：天王台地区高齢者なんでも相談室 大野令子

【議題】

- (1) 健康福祉部長あいさつ
- (2) 会長あいさつ
- (3) 自己紹介
・国保年金課より保健事業について報告。
- (4) 令和5年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
以下、報告書の通り報告する。質疑なし。

1. 協議会(年2回)

- 第1回 令和5年5月16日(木)午後6時30分から(オンライン)
出席者：委員12名、国保年金課 3名、事務局 7名、傍聴者 0名
議 題：①委員の委嘱
②会長・副会長の選出
③令和4年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
④市民向け講演会報告
⑤令和5年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画
⑥認知症初期相談チームあびこの報告
- 第2回 令和6年1月18日(木)午後6時30分から(オンライン)

出席者：委員 10 名、国保年金課 1 名、事務局 6 名、傍聴者 0 名

議 題：①認知症ケアパスについて ②あびこねの取り組みについて
③配食サービスに関するアンケート調査報告について
④終活講座の報告について ⑤専門部会から
⑥認知症初期相談チームあびこの報告

2. 専門部会

第 1 回 令和 5 年 6 月 2 8 日（水）午後 4 時から（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：10 名

議 題：①専門部会の役割の確認 ②令和 4 年度の活動内容の振り返り
③令和 5 年度の活動内容について

第 2 回 令和 5 年 7 月 1 8 日（火）午後 1 時 3 0 分から

（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：7 名

議 題：①在宅医療ハンドブックについて ②広報掲載について
③市民向け講演会について ④多職種交流会について

第 3 回 令和 5 年 8 月 2 2 日（火）午後 2 時から（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：6 名

議 題：①市民向け講演会について ②多職種交流会について

第 4 回 令和 5 年 9 月 5 日（火）午後 2 時から（保健センター大会議室）

出席者：9 名

議 題：①多職種交流会について ②市民向け講演会について

第 5 回 令和 5 年 1 1 月 1 7 日（金）午後 7 時 1 5 分から

（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：8 名

議 題：①多職種交流会について

第 6 回 令和 6 年 3 月 2 5 日（月）午前 1 0 時から（湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室）

出席者：9 名

議 題：①市民向け講演会の振り返り ②令和 5 年度の振り返り
③令和 6 年度の計画について

3. 広報あびこ

第 2 2 回（令和 5 年 6 月 1 6 日号）在宅医療と介護の連携（介護支援専門員連絡協議会）

～納得できる最期を迎えるために～

第 2 3 回（令和 5 年 9 月 1 6 日号）在宅医療と介護の連携（リハビリテーション協会）

～訪問リハビリテーションを活用して快適で充実した生活を！～

第24回（令和6年1月16日号）在宅医療と介護の連携（我孫子医師会）
～人生会議のすすめ～

4. 多職種交流会

日時：令和5年11月30日（木）午後7時から
場所：オンライン
参加人数：79名（事務局除く）
テーマ：意思決定支援について

5. 在宅医療機器ハンズオンセミナー

第1回 日時：令和5年11月8日（水）午後7時から
場所：湖北地区公民館（コホミン） 第3学習室
参加人数：32名
第2回 日時：令和5年12月21日（木）午後6時から
場所：我孫子市生涯学習センター（アビスタ） 工芸工作教室
参加人数：37名

6. 市民向け講演会

令和5年度 我孫子市在宅医療介護連携・市民講演会
日時：令和6年3月2日（土）午前10時から
場所：オンライン及び会場（我孫子南近隣センターホール）
参加人数：84名（うち会場61名、オンライン23名）
テーマ：人生会議のすすめ ～よりよく生きるために～

【第1部】基調講演

講演：人生会議のすすめ
講師：岩手保健医療大学
教授 三浦 靖彦 氏

【第2部】もしバナゲーム体験

7. その他

エンディングノート・終活べんり帳の配布
協定締結先：株式会社 鎌倉新書
費用：無料
配布：9,000部（エンディングノート）、5,000部（終活べんり帳）

(5) 令和6年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画
事務局より、本協議会の内容については各委員が所属する団体においても共有や意見交換を行い、

今後の協議会運営をより活発なものにしていただけるよう依頼する。

以下、報告書の通り報告する。

1. 協議会が目指すもの

誰もが、医療や介護が必要になっても、人生の最期まで、自分らしい暮らしを継続できる地域づくりのため、住民の意識の醸成、専門職の知識・技術の向上を図り、多職種が効果的に連携できる体制を構築すること。

2. 令和6年度の方向性

住民が自分の今後の生活について選択することができるよう、高齢者本人及び家族、専門職が考える機会を提供していく。

在宅での看取りに限らず、本人や家族が納得できる最期を迎えるための相談支援体制の構築を目指す。

3. 令和6年度の活動計画

(1) 在宅医療・介護連携の推進

① 協議会の開催

多職種連携による在宅医療・介護の支援体制の構築と、地域における包括的な支援体制づくりを推進するために協議を行う。年2回開催する。

第1回 令和6年 5月16日(木) 対面開催

第2回 令和6年11月21日(木) 対面開催

② 「あびこ・ケアリンク」の利用推進

情報の共有・連携を図る手段である「あびこ・ケアリンク」の利用の推進や効果的な活用方法について検討する。

(2) 在宅医療・介護連携に必要な知識の向上

① 多職種交流会の開催

在宅医療に関わる専門職の必要な知識の向上と、在宅医療・介護の支援効果を最大化させるために多職種連携のための交流会を開催する。

② 各団体で実施する研修等の検討

在宅医療に関わる専門職の必要な知識の向上のための研修等を実施する。

(3) 市民への在宅医療・介護の普及啓発と地域在宅医療体制構築支援事業について

① 「広報あびこ」への定期掲載

(ア) 令和6年6月16日号 (担当：介護サービス事業者連絡会(管理栄養士))

(イ) 令和6年9月16日号 (担当：我孫子歯科医師会)

(ウ) 令和7年1月16日号 (担当：訪問看護事業者連絡会)

② 在宅医療・介護に関する市民向け講演会の開催

令和7年2月開催予定

③在宅医療・介護連携リスト

令和4年度に掲載内容を見直し、「あびこ・ケアリンク」上に掲載しているが、閲覧者が限定されているので、掲載、閲覧方法の見直しを検討する。

④我孫子市ホームページの見直し

在宅医療・介護に関する情報を我孫子市ホームページ上に掲載する。

⑤在宅医療・介護ハンドブック

本市における在宅医療・介護連携推進事業の在り方を踏まえた改訂作業を行う。

⑥人生会議（ACP）推進、もしバナカードゲームの体験会等の実施

「我孫子市エンディングノート」、「終活べんり帳」の配布

高齢者なんでも相談室を中心に、もしバナカードゲームの体験会の開催や市民への貸し出し等を実施していく。

(ア)我孫子市エンディングノート → 令和6年8月予定

(イ)終活べんり帳 → 令和7年2月予定

○令和6年度 地域在宅医療体制構築支援事業 活動計画

目標

地域医療コーディネーター（以下、コーディネーター）事業を通して、市民が在宅での望む暮らしを継続できると実感できる地域となる。

行動計画

①〇〇先生に会いたい（仮）

（内容）クリニックの医師とは患者の受診や書面のやり取りが多く介護関係者との連絡調整は互いに難しいと感じる場面がある。そこで、医師の休憩時間や診療終了後などのクリニックの待合室や診察を借り、関係者が集まりサロンの対話集会を行う事で、顔の見える関係作りを行っていく。7月、12月開催予定。

②相談支援

昨年度同様、包括や居宅などと病院間の相談、調整支援を行う。また、まちの保健室や市内で行われるカフェ方式での集会等地域で行われる場所で、医療・介護の横断した相談にあたる機会を作る。

③アウトリーチ調整

前年度以前から引き続き、主治医のいない（未受診、受診拒否等）の市民の介護保険申請に必要な主治医意見書作成のための訪問の調整および同行訪問。

④ハンズオンセミナー

昨年度と同様に、医療機器を実際に間近で見手に取る事をした上で、専門職の講義を聞く事や情報共有の場を作っていく。9月開催予定。

⑤その他、研修企画・依頼

昨年度も行っているが、市民がACPを考えられる支援のためのもしバナゲームや、感染対

策やクラスター対応など、医療職・コーディネーターとして対応可能な研修を実施する。また、地域共生、地域チームビルディングなど多様な検討ができるコミュニティコーピングゲームを通しての研修も実施する予定。

⑥市民講演会（高齢者支援課と共催）

内容未定。令和7年2月開催予定。

(4) 在宅医療・介護連携に関する相談窓口

①第1相談窓口は、各地区の高齢者なんでも相談室とする。

※市内5か所の高齢者なんでも相談室が市民に身近な相談窓口として定着したことから、高齢者支援課の健康推進係、相談係2系の機能は維持し、市直営の高齢者なんでも相談室は令和6年3月31日に閉室。また地域包括ケアシステムの更なる推進を目指すことから、令和6年4月1日より「相談係」を「地域包括ケア係」へ変更。

②サービス調整等は、ケアマネジャーを中心に行う。

(5) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

- ・かかりつけ医や高齢者なんでも相談室等、地域の関係機関と連携して事業を実施する。
- ・KDBデータの活用について、その活用と協議会での課題抽出を国保年金課と協議していく。

(6) その他

認知症初期集中支援チームの検討委員会機能を兼ねているため、活動状況の報告及び検討を行う。

【各委員からの意見】

- ・もしバナゲームについて
ゲームを通じて自分の気持ちを表出できてよい。
一般市民の方に今後の人生を考えてもらういい機会になっている。
多くの人に体験してもらいたい。
- ・コミュニティコーピングゲームも遊びから考えられて、踏み出しやすい。
- ・ごみ屋敷等、目に見て分かりやすいケースは支援介入がしやすいが、口腔内の状態は分かりにくい。見えづらい問題にどうアプローチしていくか、今後の課題である。
- ・(4) ②を受けて
現在どこの事業所もケアマネジャーの調整が難しい状況になっている。
- ・新たに3か所の訪問診療所が開設されている。今後本協議会との連携を検討したい。

(6) 「認知症初期相談チームあびこ」の報告

非公開のため記載せず。

(7) その他

なし。

次回開催予定

日時：令和6年11月21日（木）午後6時30分から午後8時

会場：我孫子市役所 分館大会議室

司会：我孫子市リハビリテーション協会